

第33回参勤交代・九州横断（豊後街道）徒歩の旅

今年も8月15日（日）から8月21日（土）の日程で『第33回参勤交代・九州横断（豊後街道）徒歩の旅』が行われました。テレビで御覧になられた方も多いかと思いますが、今年は195名にも及ぶ子ども達の参加があり、約70名のスタッフを足すと260名を超える大人数での賑やかな旅となりました。毎日炎天下での行程でしたので、非常に過酷な旅でしたが、みんなで助け合って無事に全員完歩することが出来ました。



今回、第33回参勤交代・九州横断（豊後街道）徒歩の旅の団長補佐を務めさせて頂きました、熊本大学3年の島田駿祐です。

このような大役を任せられ、準備期間中は不安な気持ちで一杯でした。要領も悪く、準備で手が回らない場面も多々ありました。そんな中、共に旅をする仲間たちがいつも助けてくれて、今回の旅を行うことが出来ました。今年は195名という歴代有数の大勢の子ども達と歩くことができ、とても楽しく一週間を過ごすことが出来ました。大人しい子、元気一杯な子、恥ずかしがり屋もいればやんちゃ坊主もいました。このような子ども達と共に旅をする事ができ、とても嬉しく思います。みんなの疲れた顔、泣いている顔、そしてなにより二重の峠でのあの笑顔は一生忘れません。

この旅を支えて下さった関係各所の方々へは感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を大切に、今後活かしていきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

同じく団長補佐を務めさせて頂きました、熊本大学3年の吉村巧です。

まずは、195名誰一人欠けることなく完歩出来たことにホッとしています。

今年は歩いている時に一度も雨に降られず、終始炎天下での行程で毎日満身創痍という子ども沢山いました。しかし、そんな過酷な状況だったからこそ、みんなで支え合って乗り切ることが出来たのだと思います。子ども達の持っている力は本当に凄いと感じる一週間でした。

一週間子ども達を支え続けたリーダー達も、逆に子ども達の笑顔や頑張り、元気な姿に支えられながら今年の夏を乗り切ることが出来ました。もちろん私もそうでした。また、子どものために頑張るリーダーの姿があり、様々な面で応援・支援して下さった沢山の人がいたからこそ、団長補佐の役職をやりきることが出来たと思います。

今回の大変貴重な経験・人への感謝の気持ちを糧に、今後の活動をさらに充実したものにしていきたいです。

